

プログラム

第 1 日目 2026 年 7 月 25 日 (土)

第 1 会場 (4F 国際会議場)

理事長講演 10:05 ~ 10:35

座長：中村 智徳 (慶應義塾大学薬学部)

CL 日本医薬品安全性学会 11 年の総括と将来への発展に向けて

佐藤 光利 (明治薬科大学 薬学部)

シンポジウム 1 10:40 ~ 12:10

オーガナイザー：齊藤 幹央 (新潟薬科大学 薬学部)

座長：齊藤 幹央 (新潟薬科大学 薬学部)

木村 聡子 (東庄町国民健康保険 東庄病院)

医薬品安全性指導者 (DSD) / 医薬品安全性専門薬剤師 (DSSP) / 医薬品安全性情報スペシャリスト (CDSIS) として医療に貢献するために

SY1-1 医薬品安全における病院薬剤師の役割～医療安全管理者の視点から～

安永 大輝 松山大学 薬学部医療薬学科

SY1-2 医薬品安全性専門薬剤師による副作用評価の重要性と臨床応用

植竹 友輔 アイン薬局さいたま新都心店

SY1-3 医薬品による副作用の適切な評価 DSSP ～これぞ薬剤師！

土井 啓員 東邦大学医療センター佐倉病院 薬剤部

SY1-4 医薬品安全性情報スペシャリスト (CDSIS) としての製薬企業のあるべき安全性活動

菅野 洋 中外製薬株式会社 医薬安全性本部

ランチョンセミナー 1 12:20 ~ 13:20

座長：池田 龍二 (宮崎大学医学部附属病院 副病院長 教授・薬剤部長)

潰瘍性大腸炎治療薬 Up To Date

江崎 幹宏 (佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科 教授)

共催：アッヴィ合同会社

SL 高度化する医療に応える次世代薬剤師をいかに育むか ～ + α を積み上げる福岡大学薬学部の挑戦～

松末 公彦（福岡大学 薬学部）

EL2 医薬品副作用健康被害救済制度と副作用症例の実際

黒田 伸子（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）

副作用をどう見極め、必要な治療をどう守るか ～患者中心の個別評価アプローチ～

SY5-1 副作用を見抜き、治療を支える薬剤師の臨床力

宮崎 元康 福岡大学筑紫病院 薬剤部

SY5-2 薬剤師考案の偽アルドステロン症評価セットを用いた副作用判別の標準化と臨床能力の醸成

佐古 守人 医療法人橘会 東住吉森本病院 薬剤部

SY5-3 薬剤性 QT 延長をどう評価するか ～添付文書だけでは見えてこない臨床的視点～

梶原 洋文 大分三愛メディカルセンター 薬剤部

SY5-4 抗菌薬による薬疹のアセスメントと実践法 ―「否定できません」の一步先へ―

浦上 宗治 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部

シンポジウム 2 10:10～12:10

オーガナイザー：杉山 奈津子（国際医療福祉大学 薬学部）

座長：出雲 貴文（千葉西総合病院 薬剤部）

顧問：頓宮 美樹（株式会社 la vita）

薬剤レビューに生きるアカデミック・ディテールリング
～相互作用リスクを予測した処方提案を中心に～

SY2-1 薬剤レビューに生きるアカデミック・ディテールリングの実践

小茂田 昌代 医療法人徳洲会千葉西総合病院 薬剤部

SY2-2 带状疱疹処方をどのようにレビューするか～ディシジョンツリーの活用

森崎 隆博 医療法人徳洲会千葉西総合病院 薬剤部

SY2-3 相互作用において留意すべき薬物のリスト - 第2版を使った処方提案の考え方

杉山 奈津子 国際医療福祉大学 薬学部

SY2-4 相互作用の「程度」と「期間」がわかれば、苦手意識は克服できる！

宗像 千恵 国際医療福祉大学 福岡薬学部、医療社団法人高邦会 高木病院薬剤部

ランチョンセミナー 2 12:20～13:20

座長：兼重 晋（福岡大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長）

血液内科チーム医療を支える病棟薬剤師の力

内田 まやこ（九州大学病院 薬剤部教授・薬剤部長）

共催：富士製薬工業株式会社

オーガナイザー：中野 貴文（福岡大学 薬学部）

座長：酒井 義朗（久留米大学病院 薬剤部）

笹野 央（順天堂大学薬学部 臨床薬学教育センター）

抗微生物薬治療における安全性確保に向けて—多職種の見点と共創—

SY3-1 抗微生物薬治療における安全性の再考

—治療効果を確保し、有害性を最小化するための医師と薬剤師の共創—

高田 徹 福岡大学 医学部

SY3-2 抗微生物薬治療における副作用リスクの見える化： 安全性確保に向けた大学教員のアプローチ

榎屋 友幸 鈴鹿医療科学大学 薬学部

SY3-3 常勤感染症医不在病院における AST 活動 ～薬剤師主導のシステム構築と運用～

加地 努 三豊総合病院 AST

SY3-4 急性期病院で経験した抗微生物薬関連副作用から考える安全性確保の基本戦略

徳永 晃己 済生会熊本病院 薬剤部、TQM 部 感染管理室、医療情報調査分析室

SY3-5 救命救急センターにおける重症薬疹への対応と課題

中野 貴文 福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室

スイーツセミナー 1 15:50 ~ 16:50

座長：渡邊 裕之（医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 薬剤部 部長）

業務・研究を通じた医薬品使用の安全性向上の取り組み ～当院での事例紹介～

大山 要（長崎大学病院 薬剤部 部長、長崎大学 薬学部 教授）

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

教育講演 4 17:00 ~ 17:50

座長：藤永 理恵子（日本赤十字社 福岡赤十字病院）

EL4 薬局薬剤師による医薬品安全性担保を科学する

近藤 悠希（熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学））

教育講演 1 10:10～11:00

座長：蓮輪 博嗣（福岡県済生会二日市病院 薬剤部）

EL1 システム・データを活用した医薬品安全対策

永田 健一郎（九州大学病院 薬剤部）

スポンサードセミナー 11:10～12:10

座長：松尾 宏一（福岡大学薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室 教授）

**大学病院初！ 薬剤師教育センター本格始動
～医薬品適正使用推進に向けた人材育成の実践～**

伊東 弘樹（大分大学医学部附属病院 副病院長 薬剤部 教授・薬剤部長）

共催：ニプロ株式会社

ランチョンセミナー 3 12:20～13:20

座長：西村 信弘（国際医療福祉大学福岡薬学部 教授、高邦会高木病院 薬剤部長）

**積極的脂質低下療法後に残るリスクを見逃さないために
— 高純度 EPA の位置づけを再考する —**

三浦 伸一郎（福岡大学病院 病院長、福岡大学医学部心臓・血管内科学 主任教授）

共催：持田製薬株式会社

オーガナイザー：廣田 憲威（一般社団法人大阪ファルマプラン 社会薬学研究所）

座長：廣田 憲威（一般社団法人大阪ファルマプラン 社会薬学研究所）

山崎 美保（独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎労災病院 薬剤部）

一つ一つの薬を評価する、それが私たちの使命です！【第2弾】 ～ポリファーマシー解消の第一歩～

SY4-1 一剤の再評価から始まったポリファーマシー是正 — アマンタジン中毒を契機とした薬剤レビューの実践

中島 章雄 福岡大学筑紫病院 薬剤部、福岡大学 薬学部 病院薬学教室

SY4-2 急性期病院から社会福祉施設への転出時における薬剤調整への介入

上村 忠聖 一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部

SY4-3 評価以前の『点から線』への介入 — 漂流する患者のアンカーを果たし副作用を同定した一例—

杉本 陵 ウエルシア薬局

SY4-4 家族歴から気づいたポリファーマシーの成因の一考察 認知症症状のひとへの在宅訪問薬剤師の処方最適化事例

藤原 将平 南天薬局

オーガナイザー：尾関 理恵（順天堂大学 薬学部）

座長：尾関 理恵（順天堂大学 薬学部）

宮津 大輔（医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 薬剤部）

心不全療養指導士がつなぐ「バトン」 ～病院から在宅、心リハへ繋ぐ安全管理の秘訣～

SY6-1 心不全最新ガイドラインの実践： 患者中心の副作用管理と共創による治療継続への挑戦

田中 雅幸 摂南大学 薬学部、関西医科大学附属病院 薬剤部

SY6-2 心不全療養指導士による急性期からの介入と地域への情報伝達

塚本 裕貴 福岡県済生会福岡総合病院 薬剤部

SY6-3 PCA ポンプ等を用いる在宅訪問薬剤師による高度な薬学的管理・指導

小原 昂士 うさぎ薬局

SY6-4 心臓リハビリテーションを活用したシームレスな地域連携と薬剤師による再入院予防への取り組み

吉国 健司 JCHO 九州病院 薬剤部

教育講演 3 14:40～15:30

座長：清水 敦（有限会社いずみ薬局）

EL3 AI・デジタル共存時代における薬局と病院の未来の姿とは

中尾 豊（株式会社カケハシ）

ワークショップ 15:50～17:50

オーガナイザー：岩西 雄大（医療法人嘉健会 思温病院 薬剤科）

座長：高島 啓輔（河北総合病院）

岩西 雄大（医療法人嘉健会 思温病院 薬剤科）

ファシリテーター：平川 大輔（医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック）

富永 大介（明治薬科大学）

長谷川 佳孝（株式会社アインホールディングス 医療連携学術部）

桐生 嘉浩（株式会社 Medica Staff Promotion）

**必見！NotebookLMで学ぶAIの安全活用：
情報の真偽を見極める実践トレーニング**